

服薬ロボット導入による 自立支援を目指して ～多職種連携で取り組む服薬支援～

セコムフォート多摩（株）
コンフォート ロイヤルライフ多摩
健康サービス室 看護師
辻 幸子 

コンフォート ロイヤルライフ 多摩

施設概要

- 類型 介護付有料老人ホーム
- 開設 平成3年7月
- 入居者数 112名
- 平均年齢 88歳
- 介護率 56.3%
- 平均介護度 2.4

* 2023年5月現在



ここ10年の要介護率・平均介護度推移



要介護率 . . . 5%増

平均介護度 . . . 0.6ポイント増

ご入居者の服薬管理の現状

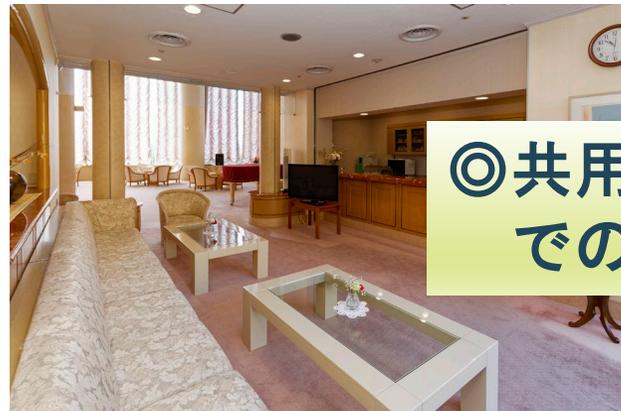
高.....自立度.....低

介入なし



自立支援
(一部介入)

職員支援
(全面介入)



◎共用部や居室
での服薬介助



◎週間カレンダー、
ケースへのセット



介入時のハードル・内服管理への思い

薬ぐらい自分で飲めます！

自分のやり方で、
これからも大丈夫です！

自分の薬を他人に預けたくない！



ご自身での管理が難しくなっている

分包カレンダーやケースから間違えて
取り出すことが起きている

内服薬は確実に飲まないと
ご入居者の健康を守れない・・・



相違が生じる

服薬ロボット導入の取り組み

◎新たな選択肢として、2021年8月より導入を開始。

延べ14名の方が利用。*本研究では、該当ご入居者を特定できないよう配慮

2023年5月現在	支援形態	人数	
自立支援（一部介入）	週間カレンダー	0名	6名
	週間ケース	2名	
	服薬ロボット	4名	
職員支援（全面介入）	喫茶コーナー・居室介助	12名	26名
	週間カレンダー	7名	
	週間ケース	3名	
	服薬ロボット	4名	
		計	32名



服薬ロボットとは…

予めセットされた薬剤を時間通りに
正しく服用するための専用装置

- 過剰服薬
- 服薬忘れ
- 時間間違い 防止



服薬ロボットとは・・・



①調剤薬局・薬剤師
が専用カセット
をセット



②服薬時間になると、
音声でお知らせ

お薬の時間です。
ケースをお取り下さい



③ご入居者操作により
カセットを取出し
服薬

(* 居宅療養管理指導の契約により提供)



服薬ロボット利用可否見極めポイント

- 認知機能の程度、理解力
- 視力
- 聴力
- 手・指の動き
- 嚥下状態
- 移動動作
- 前向きな感情・言動



服薬ロボット導入時の相談ポイント



① 設置場所、高さ
音量、発声音間隔

② 内服時間設定
(朝・昼・夕・眠前)

③ 服薬後の空薬ケース
回収方法 

服薬ロボット使用中のご入居者の声

➤ 好評

- 「時々飲み忘れそうになるから助かる」
- 「これがあれば、自分でなんとか飲める」
- 「皆さんがいちいち薬のために来てもらう迷惑をかけたくないので、これがいい」
- 「これなら忘れない、最高だね！」



➤ 不評

- 「音がうるさい」
- 「かわいくない、かわいいロボットにしてほしい」
- 「何だかよくわからない」「こんなの頼んでない」 → 離脱



職員アンケートからの考察

➤ メリット

- ① 自立支援につながった
- ② 内服介助の業務負担を減らすことができた
- ③ 誤薬リスクが大幅に減った
- ④ 薬剤師が薬のセット、説明を行う安心感

➤ 課題

- ① 試用～本運用開始（契約・受診・処方）に時間を要する
- ② 通常以外（緊急時や外出時等の設定時間外）の操作の周知
- ③ 正しく操作出来なくなってきたことの察知が遅れた
- ④ 訪問頻度が減ることによって健康管理面の情報が不足しがち



ロイヤル多職種連携



リビング
サービス担当



連携先薬剤師



おわりに・・・

ご入居者にとっての幸せとは、
「自分らしい生活が続けること」だと思います。

服薬管理においても、その方が出来なくなってきたことに対し、過度な介入で自尊心・自立心を損なわない環境作りと、人の温もりを大切にしてゆきたいと考えます。



ご清聴ありがとうございました



ロイヤル中庭池で育った
カルガモの子供たち

